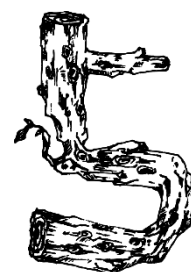


もり 北の森林 国有林

写真：イタヤカエデの花（七飯町 西大沼）

今月のトピック

- ・北海道森林管理局の重点取組事項



2019
No. 41



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局



北海道森林管理局の重点取組事項

北海道森林管理局は、北海道の土地面積834万ヘクタールのうち、約4割にあたる304万ヘクタールの国有林を管理しています。

その8割近くを天然林が占め、世界自然遺産である知床をはじめ、原生的な森林には、希少な野生生物が生息するなど、学術的にも価値の高い森林が数多く広がっています。

一方人工林では、戦後植栽されたトドマツやカラマツ等が資源として成熟し、林業・木材産業の成長による地域振興や循環型社会の構築への貢献が期待されています。

このような中、北海道森林管理局は、今年度以下の事項について重点的に取り組めます。

① 天然力を活用した多様な森林づくり

道内の人工林はトドマツ、カラマツ等、針葉樹が主体で間伐期から主伐期に移行中ですが、中には自然に生えた広葉樹が混ざった森林が多く見られます。

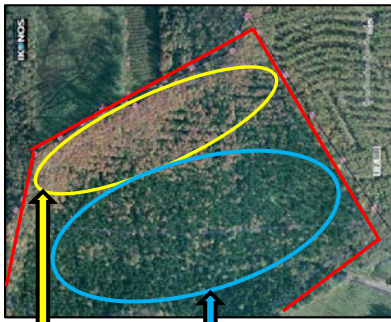
国土の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能の維持増進を図るた

め、次世代の森林づくりは現在の森林の状況を評価し、「その森林がどうなりたいのか」を見極め、自然の力も利用して多様で健全な森林へ誘導していくことが必要になります。



人工林内に生育している広葉樹

そこでドローンや全天球カメラ等の新しいツールを用いた効率的な森林調査の普及を進め、人工林内にまとまって生育する広葉樹を残し、間伐を行って育成するほか、広葉樹間伐材の有効活用にも取り組みます。



・広葉樹のまともりは保残し、間伐を行う
・針葉樹人工林のまともりは、主伐と再造林を一貫して行う

また次年度に全ての主伐箇所が多様な森林づくりを実施するために、各署において林業事業者等を交えた現地検討会を開催する他、研究機関と連携して地表を掻き起こしてカンバ類などの天然更新についても取り組みます。

② 生物多様性保全の推進

道南の狩場（かりば）山地は、我が国のフナノ北限地域にあたり、原生的な森林がまとまって分布しています。また絶滅が危惧されているクマガワの生息地にもなっています。



狩場山地のフナとクマガワ

狩場山地の原生的なフナノ保全・管理を進めるために、既存の植生データ

の収集・分析、現地調査を行い、保護の必要性が高い区域を把握するとともに、有識者による現地検討を行う他、地元自治体等の意向も聴きながら区域の大幅な拡充に向けて検討します。

③ 森林整備の省力化の更なる推進

現在、森林整備費用のなかで、植付けや下刈り等の初期費用は全体の7割と大半を占めています。

そこで、伐採・造林の一貫作業システムを導入し、伐採で使用した現有機械を活用した、地拵え・植付け作業を推進します。さらに、コンテナ苗の利用を一層拡大するとともに、緩効性肥料の施用による下刈りの省力化効果を検証、下刈りに活用するバックホウ等の大型機械が走行可能な植栽仕様の実証に取り組み、施業の省力化とトータルコストの縮減を検討します。



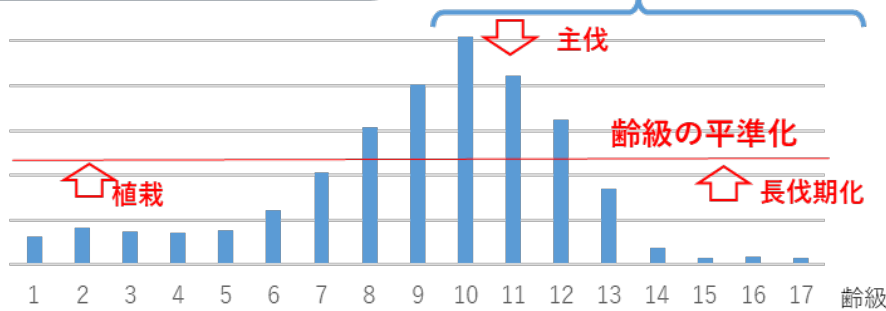
コンテナ苗

人工林の齢級平準化に向けて

- ・ 齢級の平準化のためには、伐期を迎えた人工林を一気に伐採するのではなく、長伐期化する人工林も必要。
- ・ そのためには、高齢級大径材の高付加価値化が必要

主伐する人工林 ← 長伐期化する人工林

伐期を迎えた人工林



北海道の人工林齢級別面積

注) 齢級とは、人工林の苗木が植えられてから、1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級・・・としたまとまり

④ 道産木材の活用と林産材の利活用
道産木材の高付加価値化の推進

道内の人工林は、釣鐘型のいびつな齢級構成となっています。

林業の成長産業化に必要な人工林齢級構成の平準化を目標に、大径かつ良材の原木を建築材への利用を要件として安定供給システム販売で供給し、トドマツやカラマツといった道産木材の高付加価値化を推進しま

大規模山地災害への対応
平成28年8月の台風や昨年7月、8月の豪雨など、近年頻発する集中豪雨や地震等による大規模な災害に備え、山腹崩壊や流木被害のおそれのある地区において、予防・減災対策をより一層推進します。
被害状況を迅速に把握するため、ドローンやCADを活用した効率的な手法の検討を進めるとも

⑤ 山地災害対策の推進



大径の原木は建築材へ

す。同時に、これまで十分な利用がなされてこなかった「末木枝条」を木質バイオマス資源として供給することにより、森林資源の「カスケード利用」を促します。

道政記者クラブにおける記者発表



4月18日(木)、「北海道森林管理局の重点取組事項」について、マスコミ各社向けの記者発表を行い、記者のみなさんから熱心な質問を受けました。



流木捕捉式治山ダム
(十勝西部森林管理署)

に、講習会を通じて市町村等へも技術を普及します。また、山腹崩壊や流木被害のおそれがある箇所について、流木捕捉式治山ダムや、治山施設を設置して、予防・減災対策を計画的に進めます。



ドローンによる被災地林道調査

震災当日のヘリによる森林被害調査を皮切りに、非常食料の提供、地域の危険箇所の点検、技術者の派遣、木材の供給など最大限の支援を実施しています。

平成30年 北海道
胆振東部地震への対応

地域課題の解決に向けた取組

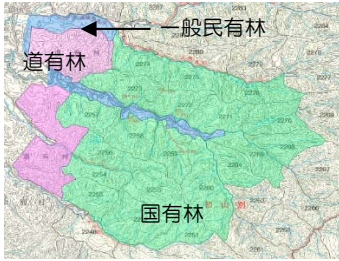
～初山別地域森林整備共同施業団地の 共同施業、協調出荷に向けた取組～

留萌北部森林管理署

はじめに

留萌北部森林管理署初山別地域においては、平成23年3月に、留萌振興局、初山別村、遠別初山別森林組合、留萌北部森林管理署の4者で初山別地域森林整備に関する協定を締結しています。

この協定では、森林共同施業団地を設定し、民有林と国有林が協調して適切な森林整備を推進することで、森林の持つ水源かん養、土砂流出防備、木材生産など多様な機能を十分に発揮することを目的としています。



初山別地域
森林整備共同施業団地

これまで、国有林83ヘクタール、民有林136ヘクタールの間伐を行い、路網整備は

民国全体で4、278メートルを行ってきたところです。

分収造林地を含む伐採箇所の連携した取組

当団地には初山別村との分収契約をした造林地が有り、近く主伐期を迎える林分もあります。しかし、面積が小さく単独では森林整備が進まない状況です。

このため、分収造林地を含む当地域の森林整備を進めるにあたり、隣接する道有林と連携ができないか検討した結果、道有林でも近く伐採の予定があり、時期を調整して共同施業に取り組んでいくことの気運が高まってきたところです。こうした中、昨年度、関係機関による共同施業団地の運営会議、現地検討会等を開催し、契約方法や時期について具体的な検討を進めてきました。

現地検討会を開催し共同施業、協調出荷の共有化

現地検討会では、実務担当

者が参加し、搬出予定線や土場の位置等を確認したほか保安林の間伐等の伐採および作業行為の申請手続きや収穫調査方法、分収造林地の主伐後再造林など幅広く意見交換をしたところです。



現地検討会の様子

その結果、
① 道有林の路網を利用して国有林の伐採予定地へアクセスすることが容易で、搬出路の短縮につながる。
② 既存土場の相互利用が可能である。
③ 一般民有林所有者の中にも間伐を行う意向がある。

ことが分かり、「地域全体で作業コストの削減が可能」との

判断から、現在、具体的にどのように連携し、効率的に森林整備を進めるか調整を行っているところです。

おわりに

地域の民有林においては、集約化が進まず、小規模・分散的な木材の搬出や森林整備が行われています。

こうした状況を踏まえ、今後は森林共同施業団地以外の民有林においても共同施業、協調出荷などの連携した森林整備を進め、地域全体で集約化やコスト削減を実現したいと考えています。



伐採予定箇所の遠景

こんにちは 森林官です!

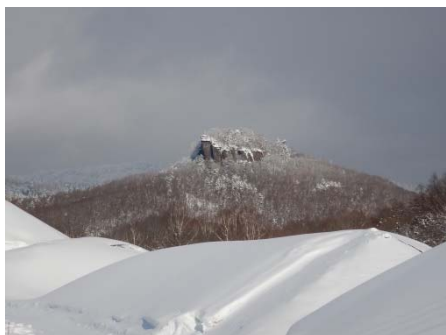
上川北部森林管理署
風連森林事務所
森林官 山岡 史忠



管内概要

私の勤務する風連森林事務所は上川管内の名寄市に所在し約8,600ヘクタールの国有林を管理しています。

名寄市は平成18年に名寄市と南側に位置していた風連町が合併した人口約27,000人の市であり、農業を基幹産業とし日本一の作付面積を誇るもち米やアスパラガスなどがあります。



見晴山

また、観光でも市立天文台や日本一の雪質を誇るピヤシリスキー場、登山・ロッククライミング

が楽しめるピヤシリ山や見晴山、比翼(ひよく)の滝やナイオロップの滝等を巡るツアーなど観光にも力を入れています。この内の数箇所は国有林内に位置しています。

森林事務所の仕事

風連森林事務所では、春から秋にかけては主に林野及び林道の巡視や各種事業の監督業務、国有地と民有地の境界巡検を行い、冬期間は冬期にしか実施出来ない箇所での事業の監督や積雪により林内での移動が容易となることからスノーモビルやスキーを使用し地況、林況等調査を行っています。

森林事務所では実施する業務の中でも今回は地況、林況等調査について紹介したいと思います。この調査は、地況(位置、面積、地勢(方位・傾斜・標高)等)と林況(林種、樹種、材積、下層植生や貴重な野生生物の生息や

生育状況等)の調査のことで、実際に現地では、林内の地形の確認や樹種・樹高・胸高部の直径を調査し対象となる区画(林小班)の現在の蓄積を把握し、この調査を基に伐採や植栽等の計画を樹立することになります。



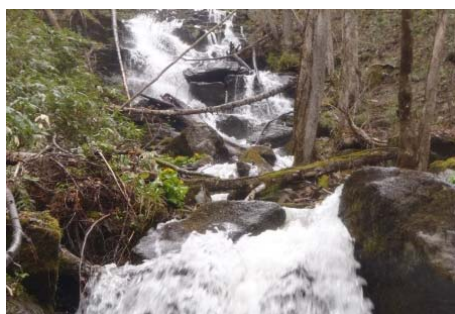
森林調査の様子

私としては、森林官の業務の中でもこの地況、林況等調査は、森林をどのように手を加えていくかを考える上でとても大切な作業であり、場所によっては道路からも遠く作業条件も厳しい箇

所もあります。重要な仕事であると考えています。

最後に

国有林に限らないことですが、山には山菜やキノコ等の採取、登山や釣り等のレジャーなどでベテランの方からあまり山に入った経験の無い方まで様々な方が入林されていると思います。経験の有無に関係無く万全の準備を整え怪我や事故無く無事に下山し、楽しい思い出にしてください。と思います。



ナイオロップの滝



はじめに

釧路湿原森林ふれあい推進センターでは、標茶町立中茶安別小中学校の学校林活動を支援しています。

同校は標茶町の中茶安別地区に所在し、小学校と中学校が併設された小規模校で、少し離れた学校林で、「森林環境教育年間指導計画」により、様々な自然体験学習を実施しています。

春の学校林活動

春の活動では、平成29年の冬に学校林の一部が伐採され、平成31年の春に植樹が予定されていることから、児童・生徒がその跡地に、何を植栽して、どのような学校林を目指すのかを検討する基礎学習として「樹木の観察」を企画しました。

この「樹木の観察」では、小学生と中学生の2班に分かれ、学校林の遊

歩道を歩きながら、当センター職員が、花の咲く木や実のなる木等の樹木の特徴を解説しました。



学年代表による発表

最後にまとめとして、各学年の代表から植栽したい樹木の発表がありました。

夏の学校林活動

夏の活動では、森林が野生生物の生息場所となっていることを知ってもらうこと、また、自分や地域と自然・森林とのつながりを考えてもらうことをテーマとして、虫などのいきものを採るフィールドワークを行いました。

まず始めに、森林管理署の担当者が、ゲームの

方法や虫の探し方を説明し、その後、小学生と先生が3班に分かれスタートしました。

各班は、遊歩道や笹地・水辺等で、虫などのいきものを探すとともに、見つけたものを記録し、「見つけた場所ピンゴカード」で何列ピンゴできるか、競っていました。



見つけたいきものをカードに記録

秋の学校林活動

秋の活動では、「来春の

学校林の植樹に当たり子ども達が、森林の将来像をイメージしながら、植栽する樹種を検討したいので、春の学習内容を深める内容でお願いします。」と、担当の先生から

の要望を受け、樹木の特徴や適応性等をテーマとして企画しました。



春に植栽する樹種を検討

植栽箇所得当センター職員から、イヌエンジュ・エゾヤマザクラ・オニグルミ等の17種類の樹木について「花・実・紅葉が美しい」や「香りが良い」等の特徴、また「人工林で必要な作業」、「木と植える場所の相性」、「森のいきもの」等も解説しました。

最後に各班の代表から「春の花・秋の実等、四季を楽しめる森林」や「食べ物や薬になる森林」等、植栽したい樹種の発表がありました。今春の植樹が楽しみです。

各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索



北海道森林管理局
「入庁式」



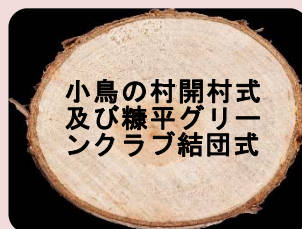
【北海道森林管理局】

4月22日（月）、北海道森林管理局の大会議室において今年度の新規採用者の入庁式を行いました。

新規採用者は、4月1日から管内の森林管理局等に配属されていますが、新規採用者研修に臨むために局に集まりました。

入庁式では新島局長から、森林づくりの答は現場にある、森林の言葉がわかる技術者になって欲しい、そして地域のために役立つことを第一に考え仕事して欲しいという激励の言葉に、22名の新規採用者は決意を新たにしていました。

新規採用者は研修終了後、それぞれの職場で活躍することになります。



小島の村開村式
及び糠平グリーン
ンクラブ結団式



【東大雪支署】

4月19日（金）、糠平小学校において小島の村開村式及び糠平グリーンクラブ結団式が行われました。

この活動は、昭和35年から「自然に親しみ、美しい自然環境の中で健康な身体と健全な精神力を養い、自然保護について学習を行う」ことを目的に続けられ、今年度末の小学校の閉校とともに、長い歴史に幕を閉じることとなります。

副村長から「活動が終了する寂しさはあるが、本日はおめでたい開村式。最後の一年、活動をしっかりやりきろう」との言葉に気持ちを新たにし、団員4名の決意表明が行われました。

当支署としても最後の森林学習を思い出に残る授業にしたいと今から意気込んでいます。



銘木市丸太見方
統一会を開催



【十勝東部森林管理署】

4月15日（月）、陸別森林事務所旧貯木場跡地において地域から出材される木材の高付加価値化を推進するため「銘木市丸太見方統一会」を開催しました。

十勝総合振興局森林室や、地域の林業事業者、当署職員を含めて約80名が集まり、当署が4月26日の旭川銘木市に出品する丸太（マカバ、メジロカバ、ミズナラなどの広葉樹をはじめ、アカエゾマツなどの針葉樹）を見学しました。

参加者からは、「出品までの流れを聞くことができて参考になった」などの感想をいただき、今後の銘木丸太の出品に向けて、有利な販売方法など更に検討を進め取り組んでいくこととしました。



置戸町境野公民館
完成見学会に出席
して



【網走中部森林管理署】

3月16日（土）、置戸町境野の境野（さかいの）公民館の完成に伴って見学会が開催されました。

見学会当日は、久しぶりの降雪にもかかわらず、置戸町民約50名が参加する中、公民館で町役場担当者による概要説明の後、新公民館に移動し、木材部分と非木材部分のコントラストが美しい館内で、真新しい木の香りに包まれながら見学・質疑応答が行われました。

見学に参加された方々からも口々に「やっぱり木はいいね！」との声が上がっていました。町面積の8割以上を森林が占める森林の町に、木材の魅力にあふれた新しい見所が加わりました。

「樹木図鑑」をリニューアルしました！

駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センターのホームページに掲載中の「樹木図鑑」をリニューアルしました。道南で見かける樹木 124 種を「葉の形」からの絞り込みや「樹種名」で検索することができます。樹木の同定や「樹木博士認定会」の学習等にぜひご活用ください。

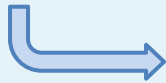


http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/komagatake_fc/guide.html

葉の形による検索

葉の形を指定してください

- ・針や魚のウロコのような形
- ・扇のような形
- ・円形、楕円形、卵型、三角形などの形



葉の特徴を選んでいくと
樹種名がわかるよ



ホオノキ (ホオガシワ)

モクレン科モクレン属 (落葉高木)

学名: *Magnolia obovata* 英名: Japanese Big-leaf Magnolia



は とうらんじょうちよう えんけい あつ おおがは は こうたく ごせい
 ・葉: 倒卵状 長だ円形、**厚い大型の葉、光沢あり、互生**
 ふちはなめらかでやや鈍頭、**枝先に集中**
 うらら ころな お ほくしよく
 裏は粉を帯びたような白色
 みき かわ かいほくしよく えんけい ひもく えだ ふと
 ・幹: 皮は灰白色、円形の皮目がある、枝が太い
 はな がつ えだきき は ちゆうしん き しろ はな つよ かお だ
 ・花: 5~6月に枝先の葉の中心で咲く白い花は強い香りを出す
 ふゆめ ごせい ちようが ちようぼうすいけい せんたん とが まい がりん
 ・冬芽: 互生、頂芽は**長紡錘形**で先端は尖る、2枚の芽鱗
 ちようが そくが り おお たくようこん えだ いっしゅう しょうこん おお しんけい じんけい
 頂芽は側芽より**大きい**、托葉痕は枝を一周、葉痕は大きく**心形または腎形**
 おお は つつ
 ・ホオは大きな葉で「**包む**」 → ホオノキ



林野火災予防強調期間
 (4月21日~5月31日)
 山菜採りやハイキングのシーズンですが、一人一人が意識を高めることで、山火事をなくしましょう！

今月の表紙
イタヤカエデの花
 北海道のベストシーズンがやってきました。キタコブシやサクラのほかに可憐な花が次々開花しています。表紙のイタヤカエデの花は、珍しく目線の位置に咲いていました。歩道などに落ちていたのをご覧になった方も多いと思います。イタヤカエデは、甘い樹液を持ち、折れにくいためこどもが木登りをしたり、鍬の柄(え)などにも使われ、身近な木です。

もり
 広報 「北の森林 国有林」5月号
 発行 北海道森林管理局
 編集 総務企画部 企画課
 〒064-8537 札幌市中央区宮の森 3条7丁目70番
 I P電話 050-3160-6300
 電話 011-622-5213
 F A X 011-622-5194
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

お知らせ
イベント情報カレンダー
 北海道森林管理局では、北海道内の国有林等で開催される、森林・林業・木材産業のイベント情報をホームページ上で公開しております。ぜひ皆様でお出かけください。
 なお、現地の状況等により内容を変更する場合がありますので、予めご承知おきください。